

2019年度 創竹会総会報告

議 事

- ・平成30年度事業報告、同決算報告、および同監査報告
- ・令和元年度 創竹会役員選出
- ・令和元年度 事業計画案、同予算案
- ・特別寄付

令和元年6月29日(土)第19回創竹会総会が開催され、活発な質疑応答が行われました。全議案とも滞りなく可決承認されました。



令和元年度 役員

会 長	古谷顯史郎	理 事	遠藤 佳代 五藤みち子 雲雀寿美子 石黒 早苗 遠藤都史子 濱田 智恵 石井 久子 中岡 直美 山本 亨子 小山久美子 橋本 淑恵 小池由紀子 清水千恵美 津村 久美 安田 奈美
副会長	宇田川耀平 武居 哲洋 飯田 道郎 神沼 厚史 高畠 裕		
顧 問	二瓶 好正 三嶋 明 村上 一路 荒井 正剛		
理 事	阿部 芳枝 奥津 浩美 中原由佳里 小坪 佳子 白石 裕子 柴田 和子 丸山 正江 荒井 真美	監 事	加藤 太智 高畠 正子

竹中生であることの誇り



副校長
森 顕子

会員の皆様におかれましては、役員の皆様をはじめといたしまして、日頃より本校に様々な形で惜しみないご支援を賜りましてありがとうございます。新たな時代の始まりの年、令和元年も生徒たちは、生き生きと学校生活を送っております。

ある日の夕刻、出張戻りでようやく帰校しようというところ、男女数名が春日通りを歩いて行くのにすれ違いました。「そういうことは、竹中生として恥ずかしいよ」「私たちは竹中生なんだから」そして、朗らかに「竹中っていいよね」と笑いさざめいていくその様がいかにも楽しげで、正門の手前でしばらく佇み、後ろ姿を見送ってしまいました。何が恥ずかしいことなのか、竹中のどこがいいと言っていたのかはわかりません。でも、こういう生徒が育まれる学び舎であることを誇りに思います。

今後とも創竹会の皆様のご理解ご協力と一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

茶房「創竹庵」開店

11月1日(金) 10:30~15:30
11月2日(土) 9:00~12:00



今年も文化研究発表会にて、渡辺元校長直伝の名物ベトナム珈琲のほか、各種お飲み物をご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。会場は当日のパンフレットをご覧ください。

書籍販売

子どもが輝く

一幼小中連携の教育が教えてくれたこと



藤本校長先生にご紹介いただいた本です。昨年9月の出版以来好評につき、創竹庵限定割引価格2,000円(税込)で販売をいたします。

※創竹庵、書籍販売の収益は創竹会の活動収入として、生徒たちの教育活動のために役立ててまいります。

編集後記

創竹会についての理解を深めていただけるよう「創竹会だより」を年1回発行しております。

本誌でご紹介しましたとおり、7月から体育館に冷風機を導入し、猛暑の中子どもたちに大変喜ばれていました。

今年度より藤本光一郎校長先生をお迎えし、また令和という新しい時代になり、役員一同、竹早中学校の教育環境の向上のため、竹早中学校創立75周年に向け一丸となって活動してまいります。

会員の皆さまには引き続きご支援・ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

創竹会だより

No.19

令和元年10月1日発行

会員の皆様へ



創竹会会長
古谷顯史郎

会員の皆様には、平素より教育後援会「創竹会」の活動にご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。

75周年記念事業のスタートとして昨年度は、同窓会からの寄付500万円、PTAからの寄付100万円をもとに体育館音響設備のうち、スピーカーを更新いたしました。今後は、音響効果の改善、漏水で劣化している床の張替え、並びに記念式典が控えております。記念事業の必要資金として試算されている約2900万円を対象とした、所得控除対象となる「特別寄付」を今年度より毎年募集させていただくことになりました。

会員の皆様には、ご理解とご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

平成16年の国立大学法人化以降、年々削減されている大学からの「附属学校教育研究費」は、生徒一人当たり年間1万円を切っており、今後もこの厳しい状況は変わりません。平成12年に設立された創竹会は、教育環境維持・改善のため、皆様からのご寄付を有効に使えるよう、学校とも打ち合わせを重ね、パソコンの購入、空調設備の導入・更新・保守、教室等の修繕、教科の備品・消耗品・図書の購入、LAN更新整備等様々な施策の支援を行って現在に至っております。今後も更なる教育環境の維持・改善のため、PTA・同窓会・学校との連携を図って参りたいと考えております。

昨今、附属学校は、将来に向けての存在意義を問われております。厳しい状況下で、生徒の主体性を大事に、自由と多様性をもった歴史と伝統に支えられた竹早中学校は、幼小中連携教育の進化、OECDとの共同による次世代対応型教育モデルの研究開発、教員養成系4大学プロジェクト関連事業等、いろいろな研究・実践が進められており、注力していただきたいと思っております。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、更なるご支援ご鞭撻をお願い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

連携 主体性 そして



学校長
藤本光一郎

4月より校長に着任しました藤本光一郎と申します。よろしくお願いいたします。日頃より創竹会の皆様からは多大なご支援をいただき、誠にありがとうございます。創立75周年に向けた体育館の音響改善なども皆様のご支援を受けて進めさせていただいております。

私の専門は地質や岩石で、特に、岩石が長時間雨風にさらされたり、温泉や火山の環境に置かれたりして変化する現象を主に研究してきました。

さて、「竹早と言えば連携」と言われるほど、長年積み重ねてきた幼小中連携の教育は本校を含む竹早地区の大きな特色となっています。その成果は「子どもが輝く 一幼小中連携の教育が教えてくれたこと」と題する書籍として昨年出版されました。さらに連携

を基盤としながら、子どもたち一人ひとりの優れた資質を伸ばし、主体性を育む教育が行われてきました。その一例として、本校の国語の授業映像がOECD(経済協力開発機構)のウェブサイト*に生徒主体性に関する実践例として紹介されております。

しかしながら近年国立大学の附属学校を取り巻く状況は厳しく、予算や定員の削減が進み、縮小や統廃合を求められるケースもあります。東京学芸大学では、各地区の特色を打ち出すことで12附属校・園舎の体制を維持するとしており、本校にも新たな特色づくりが求められています。私は従来の幼小中連携の教育や主体性を育む教育は本校の誇るべき特色であり、この方向性を変えてはならないと考えています。一方で、それを守りながら、多様で開かれた未来社会を志向した教育を探り、新しい強みを作ることも大切であると考えています。幼小中の連携のもと、創竹会をはじめ本校を見守ってくださる方々のご意見も伺いながら進めてまいりたいと思います。

創竹会の皆様からの引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

*OECDウェブサイト <http://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/student-agency/>

令和元年も創竹会は子どもたちの学校生活を支えます！

創竹会とは？

創竹会は正会員(在学生の保護者)と賛助会員(正会員資格を有しないもので、本会の趣旨に賛同する個人、法人、団体)から構成されている教育後援会です。竹早中学校の教育活動および教育研究に協力すること、ならびに会員相互の連携・親睦をはかることを目的としています。

夏の間、体育館に冷風機を設置しました

子どもたちの熱中症対策として、冷風機2台をレンタルし設置しました。大型のフィルターとファンにより、圧倒的なパワーで広範囲に冷風が届き、夏休み中も部活動で大活躍しました。

【大型扇風機ウォータークーリングファンClassic36】

先生方の感想

- ・ 蒸し暑い時でも、冷たくて気持ちいい！
- ・ 風が遠くまで届くところが良い！
- ・ 生徒たちがすぐに風に当たりに行く姿をみると、冷風機に感謝しています。

子どもたちの感想

- ・ 去年より体育館がとても涼しくなった。
- ・ 部活の練習中、すぐに風にあたって涼めるので、体力の回復が早く、激しい練習に励むことができた！

創立75周年記念事業として、体育館では今後、床の改修が予定されています。未来の竹早中学校の発展のために、創竹会からも引き続き支援してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

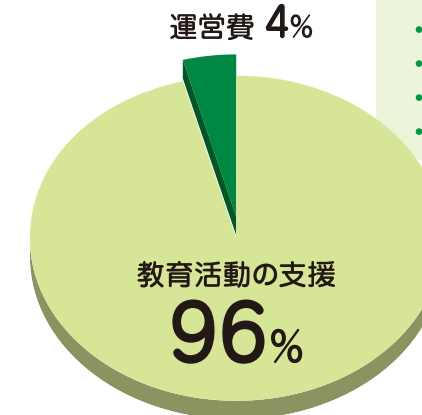
創竹会の会費・寄付はどんなことに使われているの？

会員の皆様からいただいた会費・寄付金は、様々なところで子どもたちのために役立てられています。

例えば以下のように使われています。

- ・ 学校設備の改修・修繕
- ・ ICT関連設備の更新
- ・ クラブ活動補助
- ・ 備品・消耗品・新刊図書購入
- ・ 防災・安全対策

<購入物品例>



新制度「特別寄付」へのご協力のお願い

昨今大学からの予算も限られ、財政的に大変厳しい状況が続いております。そのため、創竹会ではこの度、東京学芸大学からの「寄付金領収書」を発行できる「特別寄付」制度を立ち上げました。国立大学法人への寄付については所得税制上の所得控除(寄付金控除)の対象となります。1年を通して募集しております。1口10,000円で1口以上、何口でも結構です。5月に創竹会からお渡しした、ゆうちょ銀行払込取扱票をご使用ください。お持ちでない場合は、郵便局に備え付けの払込取扱票に下記を明記の上お振込みください。

振込手数料は、誠に勝手ながら各自ご負担ください。

口座番号: 00180-9-392665

加入者名: 創竹会

通信欄: 在籍期と生徒氏名(〇〇期 竹早太郎)

ご依頼人: 領収書に記載する方の住所、氏名

※大学からの「寄付領収書」発行手続きには時間が必要のため、本年の領収書発行は8月31日をもって締め切らせていただきました。ご寄付いただいた皆様、ありがとうございました。尚、来年の領収書をご希望の場合は、令和2年1月1日以降8月31日までにお振込をお願いいたします。